

令和2年度予算審査特別委員会（第5回）

令和2年3月24日（火曜日）午前10時03分開会

○付託案件

- 1 報告書のまとめについて
 - 2 その他
-

○出席委員（16名）

| | | | |
|-----|------|------|-------|
| 委員長 | 中川友規 | 副委員長 | 横田有一 |
| 委員 | 神崎和枝 | 委員 | 平松俊一 |
| 委員 | 池田誠悦 | 委員 | 稲垣明美 |
| 委員 | 畑中静一 | 委員 | 長谷川生人 |
| 委員 | 上野武彦 | 委員 | 坂本繁 |
| 委員 | 澤出明宏 | 委員 | 中島勝也 |
| 委員 | 川村主税 | 委員 | 川上弘一 |
| 委員 | 若山雅行 | 委員 | 青山金助 |

○欠席委員（1名）

委員 田村敏郎

○議長出席の有無 無

○出席説明員（0名）

○本会議の書記

事務局長 関口順子 書 記 妹尾洋兵

午前10時03分 開会

○中川委員長 おはようございます。

ただいまより、令和2年度第5回予算審査特別委員会を開催いたします。

田村敏郎委員より、欠席の届出がありましたので報告いたします。

それでは早速ですが、これまで審査を行ってまいりました議案第1号から議案第7号までの令和2年度各会計予算の審査結果について、お手元に配付のとおり、当委員会の報告書案ができておりますので、報告書案について提案いたします。

それでは議案第1号から議案第7号の令和2年度各会計予算にかかわる報告書案について、事務局で読み上げて提案したいと思いますのでお願いいたします。

事務局長。

○関口事務局長 おはようございます。

それでは、私の方で読み上げて提案させていただきます。

委員会報告第5号、令和2年度予算審査特別委員会報告書。

令和2年3月18日、第1回定例会における議決に基づき、当特別委員会に付託された事件について、審査した結果を下記のとおり報告する。

令和2年3月24日、七飯町議会議長、木下敏様。令和2年度予算審査特別委員会委員長、中川友規。

記、1、審査に付託された事件名。(1)議案第1号令和2年度七飯町一般会計予算。(2)議案第2号令和2年度七飯町国民健康保険特別会計予算。(3)議案第3号令和2年度七飯町後期高齢者医療特別会計予算。(4)議案第4号令和2年度七飯町介護保険特別会計予算。(5)議案第5号令和2年度七飯町土地造成事業特別会計予算。(6)議案第6号令和2年度七飯町水道事業会計予算。(7)議案第7号令和2年度七飯町下水道事業会計予算。

2、審査の経過。令和2年3月18日、19日、23日、24日の4日間、委員会を開催し、町長、担当部長、教育次長、担当課長、センター長及び事務局長の出席を求め審査を行った。

2ページに行きまして、3、決定及び理由。

(1)決定、原案可決。(2)理由。令和2年度の一般会計の予算額は120億円で、前年度と比較して13億2,000万円の増加。四つの特別会計予算の総額は66億4,650万円で、前年度と比較して2,200万円の減少となっている。

また、企業会計においては、令和2年度から下水道事業が地方公営企業業法の提要を受け、企業会計に移行することとなっている。

なお、令和2年度の一般会計の予算編成においては昨年度に引き続き、基金からの繰り入れを行わない予算編成となっており、財政状況の改善に向けて取り組んでいることが伺える。

町長への総括質疑においては、委員から次の6点についての質疑があった。①今年度以降の実質公債費比率、経常収支比率、財政調整基金の考え方について。②新型コロナウイルスの影響に対する早急な経済対策や災害時の応急対策として、町が備蓄しているマスクを医療機関等に配布する考えについて。③防災行政無線の導入に対して全く実績のない新方式を提案されているが、その機能や安定性について検討する考えについて。④地域公共交通については町長の施政方針の中で、デマンド型交通などの具体的手法の検討を行ってまいりますとあるが、予算措置がされていないことから今後の考え方について。⑤峠下2号線改良舗装工事の関連予算が1億9,600万円となっており、民間施設の誘致に向けた先行投資としての考え方について。⑥七飯町立地適正化計画の策定に当たり、コンパクトなまちづくりへの転換を図る必要があるとされているが、町民の声を反映させて行く考えについて。

これに対して、町長からは次のとおりの答弁があった。

①実質公債費比率については、令和6年度に3カ年平均で15.5%になるのがピークと想定されており、その後の比率が改善する見込みである。経常収支比率については、今後は少しでも比率がよくなるよう、歳入一般財源の確保や経常経費の削減に努めてまいりたい。財政調整基金については、令和元年度の状況としては、現時点での決算見込みとして基金の取り崩し額より積立金の

ほうが上回っており、令和元年度の出納閉鎖時には基金残高は増加する見込みである。

②新型コロナウイルスに対する経済対策としては、1点目として20%のプレミアムを付加したプレミアム商品券を発行を検討しており、内容が決定次第、早急に補正予算を提案してまいりたい。

2点目として、商工業経営安定支援事業の拡大を行い、予算が不足するようであれば補正予算を提案してまいりたい。

3点目として、商工観光課に職員を増員し雇用相談窓口を設置してまいりたい。

4点目として社会福祉協議会が行う生活福祉資金制度の活用を周知してまいりたい。

5点目として健康増進対策として、アップル温泉使用料の割引を実施してまいりたい。最も大事なことはマスクの着用、手洗い、うがいの徹底など、感染予防対策の啓発活動を今後も継続していきたい。マスクについては町内医療機関等にマスクの在庫数の調査を行い、町の備蓄しているマスク、2,200枚を3月23日に配布している。③防災行政無線の戸別受信機の方式については、確かに全国的な実績はないが、機能や安定性については十分な試験、十分な検討を行い、住民にとってよりよいものを導入してまいりたい。

④現在、町内プロジェクトチームにおいて検討しているが、課題整理に時間を要している。当町の地域特性を考えれば、デマンド型交通が適していると考えている。費用対効果も考慮し、補正予算を視野に入れながら着実に進むよう指示している。⑤峠下2号線は平成27年以降、5年間で20件程度の物損事故が発生している。温浴施設の工事、開業等により交通量が増加する見込みから、安全確保のため拡幅工事を行うものである。

⑥策定前に2回の住民説明会を実施し、町民の皆様の意見を計画に反映させていくとともに、計画の素案ができたときは改めてパブリックコメントにて、町民の皆様の意見を伺い、よりよい計画を策定してまいりたい。

以上のことを踏まえ、当委員会に付託された7議案について慎重に審査した結果、議案第1号は賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定

し、議案第2号から議案第7号までは、いずれも全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

4ページにつきましては、令和2年度一般会計予算を掲載してございます。

5ページにつきましては、令和2年度特別会計予算及び企業会計予算を掲載しております。

以上でございます。

○中川委員長 ありがとうございます。

ただいま、報告書案について事務局の方で読み上げて、提案させていただきましたが、字句の修正等はありませんでしょうか。

若山委員。

○若山委員 内容については委員長、副委員長にお任せしたので特に何もありませんけれども、資料の方の2年度一般会計予算の③利子割等交付金の差額の数字がこれ間違っているの、訂正していただきたいと思うんですけども。マイナス1,500万になるのですかね。計算式間違っているのかな、この差額。そこだけ数字、ほかは全部合っていますので。

○中川委員長 表の方ですか。4ページ目ですか。

○若山委員 4ページ目です。ごめんなさい。4ページ目の歳入のところの利子割等交付金のところを、1,100万が500万になっているので、マイナス150万という数字。

○中川委員長 4,500万のところマイナス150万という……。

○若山委員 いや、数字が違うんです……。

○中川委員長 暫時休憩します。

午前10時13分 休憩

午前10時14分 再開

○中川委員長 休憩前に引き続き再開いたします。

ただいま、4ページの一般会計予算の歳入の表の部分で、上から3段目、3の利子割等交付金の比較のところなんです。450万の増となっているのですけれども、こちらがマイナスの150万ということで修正のほうお願いいたします。

150でよろしいですよ。

(「はい」と呼ぶ声あり)

○中川委員長　ということで、マイナス150万に修正のほうお願いいたします。

ほかになれば、ほかの修正はなしということで終わりたいと思います。

それでは、令和2年度予算審査特別委員会、報告書案については承認されたものとし、これから再開されます定例会に、報告書として委員会報告することといたします。

お諮りいたします。以上で本委員会の審査、全てを終了したいと存じますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

○中川委員長　御異議なしと認めます。本日の委員会は、これで終了させていただきます。大変御苦労さまでした。

午前10時15分　閉会